

台車式電動引戸

取付説明書 — ジャンボスライドAL型、ジャンボスライドST型 —

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



警告

- 門扉は人や車が入り出りするのためのものです。構造によって開閉する方法が異なりますので、設置の場所・目的に合わせて選択してください。



注意

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

<施工上のご注意>



注意

- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- アルミ製品が垂鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- 扉走行床面は水平に仕上げてください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
- コンクリート（またはML外）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食の原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

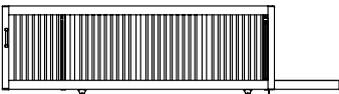
<電気配線工事について>

⚠ 注意

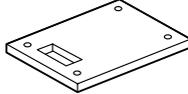
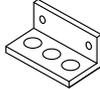
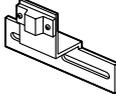
- AC100Vの電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。
- AC100V用の照明器具は、第3種接地工事を行なってください。

■梱包明細表

①本体セット

名 称	略 図	員 数	
		片引き	両引き
引戸本体(掛)		1	2
転倒防止金具		4	8
前ストッパー(G.L.)		1	2
ストッパーかさ上げゴム		1	2
後部ストッパー(G.L.)		1	2
落し棒受けパイプ		2	4
①-① M10×40グリップアンカー		2	4
①-② M10×65六角ボルト		2	4
①-③ M10バネ座金		2	4
①-④ M10平座金		2	4
①-⑤ φ10×60オールアンカー		2	4
①-⑥ M6×15座金組込六角ボルト(PW+SW)		8	16
取付説明書<D360>	—	1	1
取扱説明書<UD070>	—	1	1

②電動柱セット

名 称	略 図	員 数	
		片引き	両引き
電動柱セット		1	2
ベースプレート		1	2
調整用スペーサー		8	16
電動柱固定アングル		2	4
埋設ケーブル固定ブラケット		1	2
埋設ケーブルカバー		1	2
マグネットスイッチ		2	4
押えローラーセット		1	2
アンテナ		1	2
リモコン送信器		1	2
手動電動切換用六角棒スパナ		1	2
②-① M12×100オールアンカー		4	8
②-② M8×20座金組込六角ボルト		8	16
②-③ M8×15座金組込六角ボルト		4	8
②-④ φ4×10トラスネジ		4	8
②-⑤ φ4×10トラスネジ		4	8
②-⑥ M4×8ナベネジ		4	8
②-⑦ M6×15座金組込六角ボルト		4	8

■梱包明細表 つづき

③ センサー柱セット

名 称	略 図	員 数	
		片引き	両引き
センサー柱（投光側）		2	2
センサー柱（受光側）		2	2
柱キャップ		4	4
センサーフード		4	4
③-① M8×70オールアンカー		16	16
③-② φ4×10トラスネジ		8	8
③-③ φ4×10トラスネジ		16	16

④ センサーケーブルセット

名 称	略 図	員 数	
		片引き	両引き
センサーケーブル		2	2
連結ケーブル		—	1

⑤ オプション

名 称	商品コード
リモコン送信器セット	KYZ73
アンテナ延長ケーブルセット	KYZ81
外部押しボタンスイッチセット	KUK41

1. 基本納り寸法

1-1 ジャンボスライドAL型 (片開き) ※ () 内寸法はレール外寸650mmを示します。

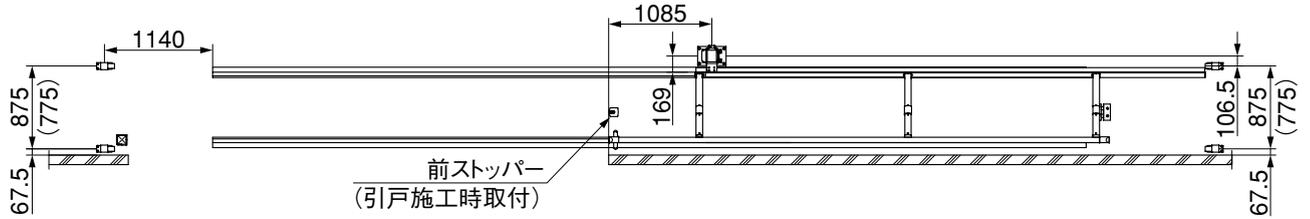


図1-1 全開時

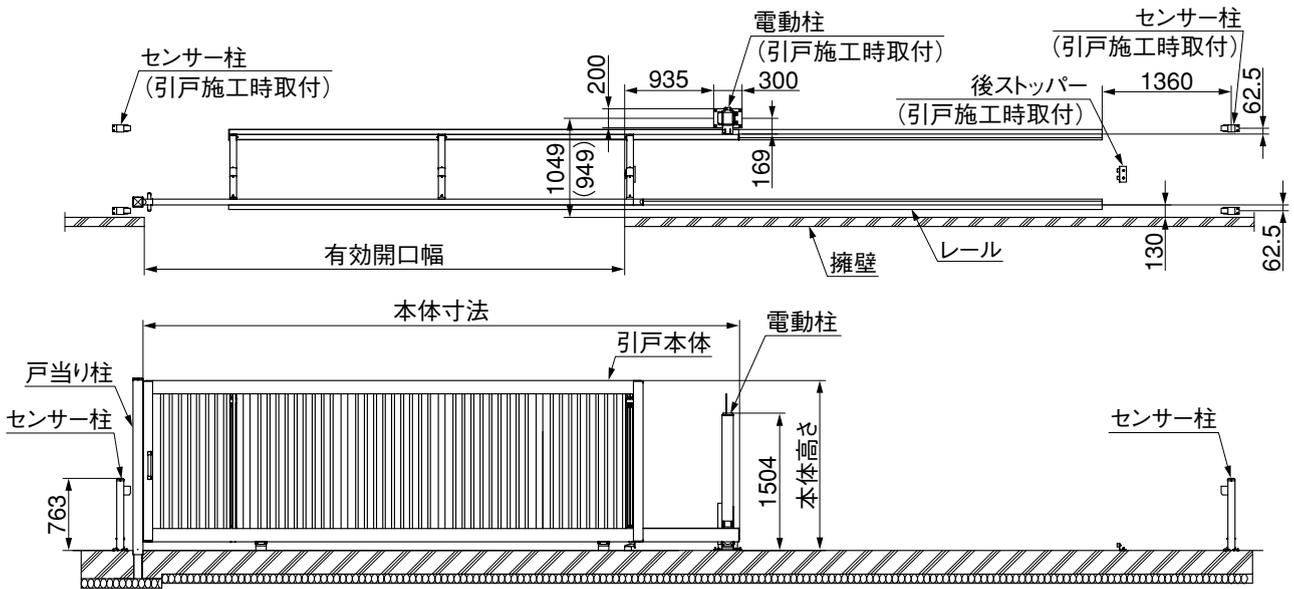


図1-2 全閉時

表1-1

呼称	有効開口幅	本体寸法
W30	3000	4220
W40	4025	5245
W50	5050	6270
W60	6075	7295

表1-2

呼称	本体高さ	本体寸法
H12	1200	647.5
H14	1400	647.5
H16	1600	747.5

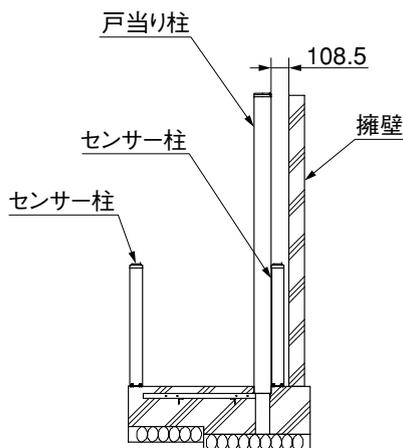


図1-3

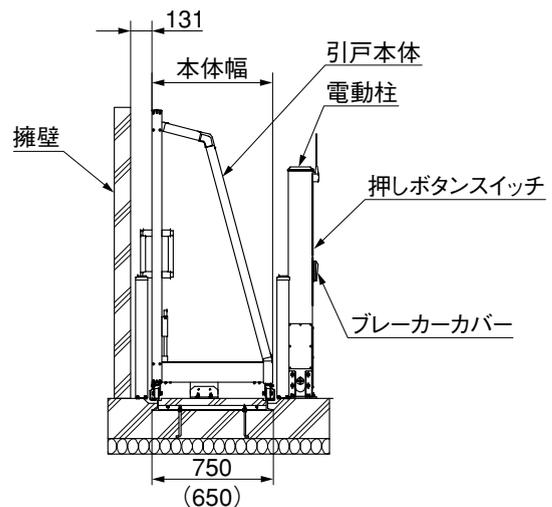


図1-4

1. つづき

1-2 ジャンボスライドAL型 (両開き) ※ () 内寸法はレール外寸650mmを示します。

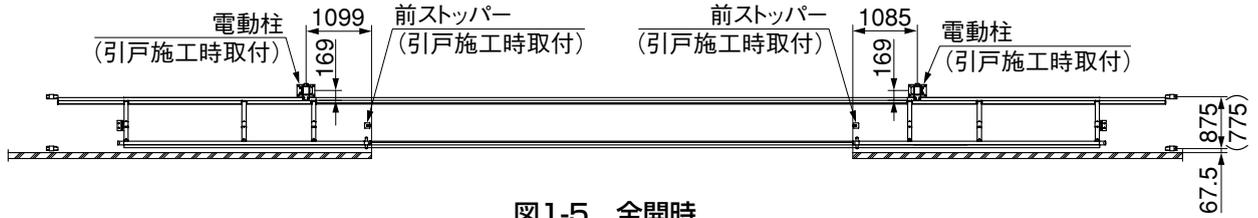


図1-5 全開時

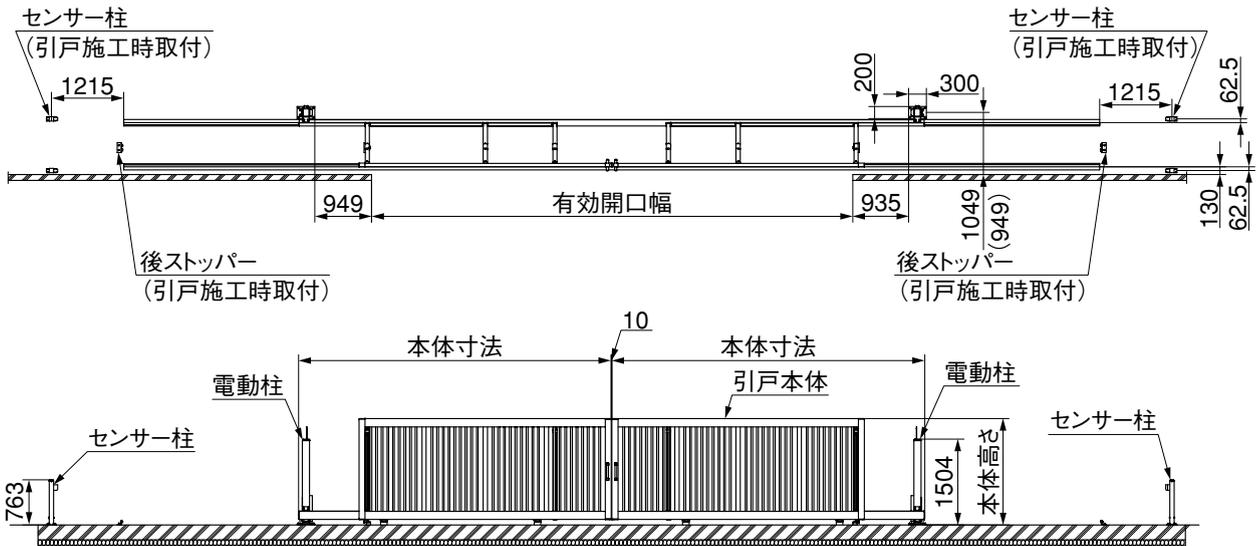


図1-6 全閉時

表1-3

呼称	有効開口幅	本体寸法
W30-30	6018	4220
W40-40	8068	5245
W50-50	10118	6270
W60-60	12168	7295

表1-4

呼称	本体高さ	本体寸法
H12	1200	647.5
H14	1400	647.5
H16	1600	747.5

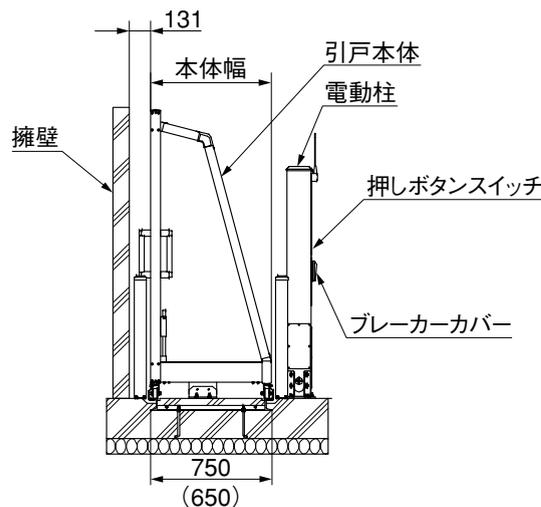


図1-7

1-3 ジャンボスライドST型 (片開き) ※ () 内寸法はレール外寸650mmを示します。

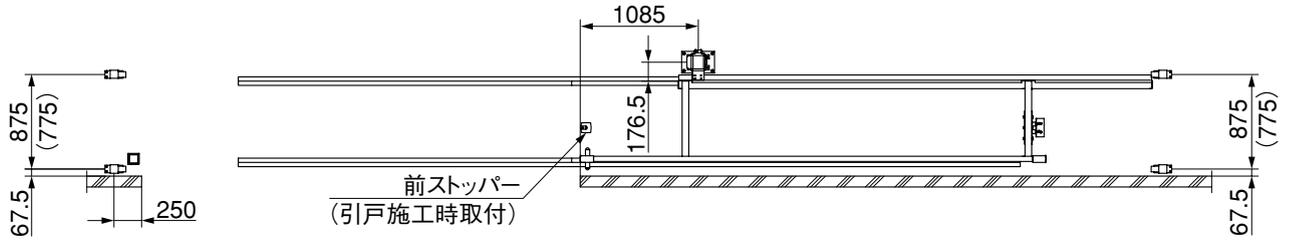


図1-8 全開時

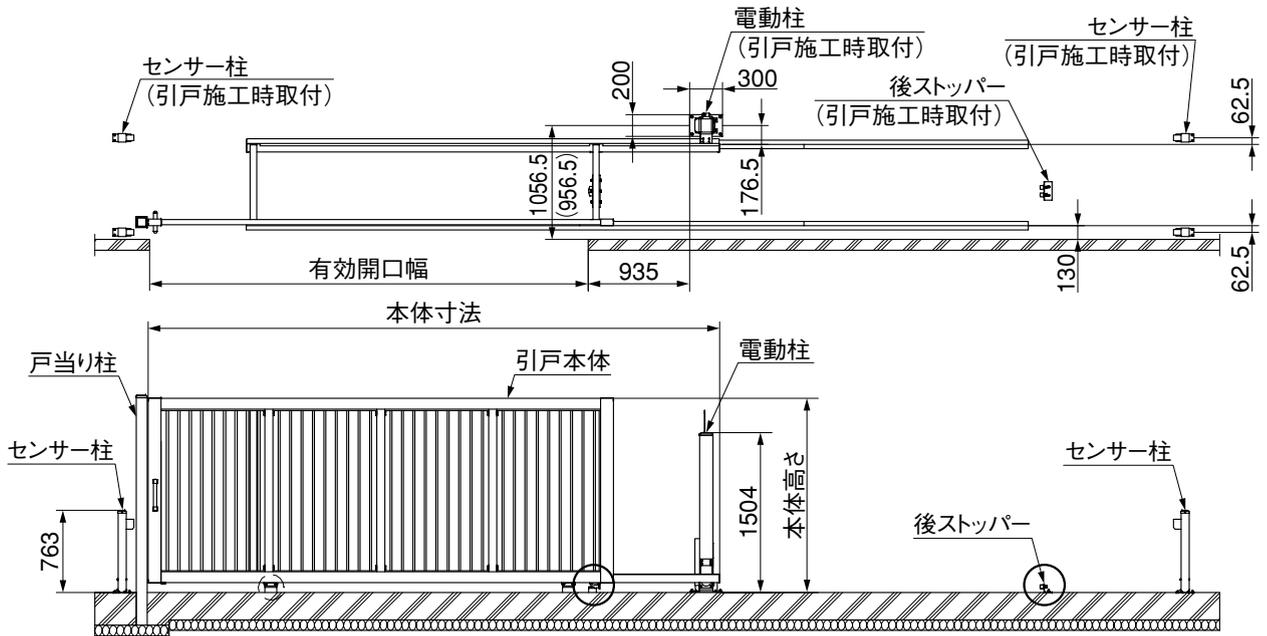


図1-9 全閉時

表1-5

呼称	有効開口幅	本体寸法
W30-H12 (14)	3003	4224
W40-H12 (14)	4021	5242
W50-H12 (14)	5039	6260
W60-H12 (14)	6057	7278

表1-6

呼称	有効開口幅	本体寸法
W30-H16	3001	4222
W40-H16	4028	5249
W50-H16	5055	6276
W60-H16	6082	7303

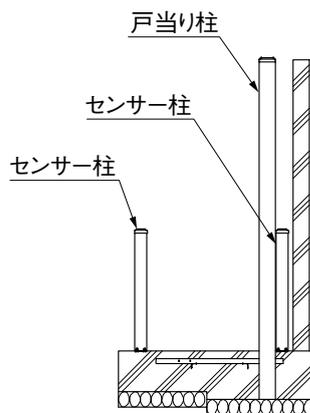


図1-10

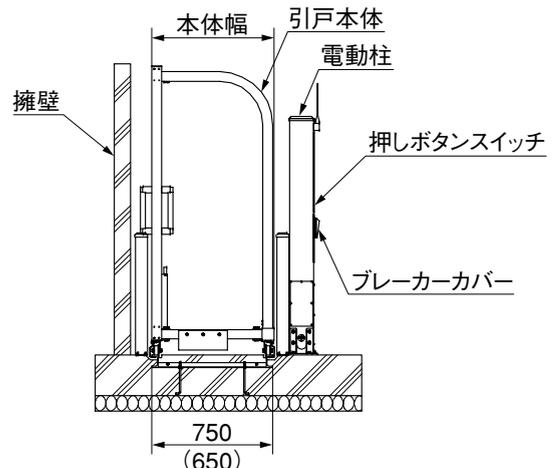


図1-11

1. つづき

1-4 ジャンボスライドST型 (両開き) ※ () 内寸法はレール外寸650mmを示します。

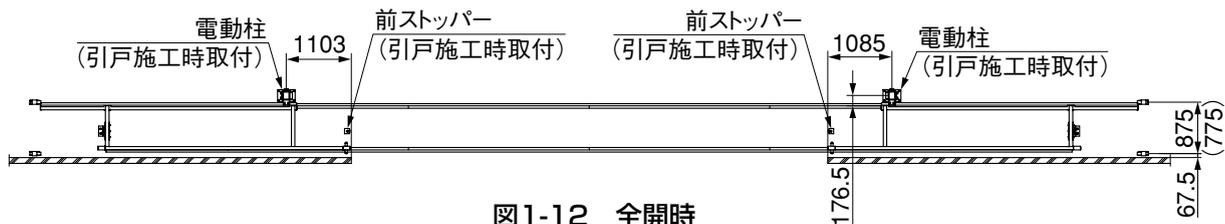


図1-12 全開時

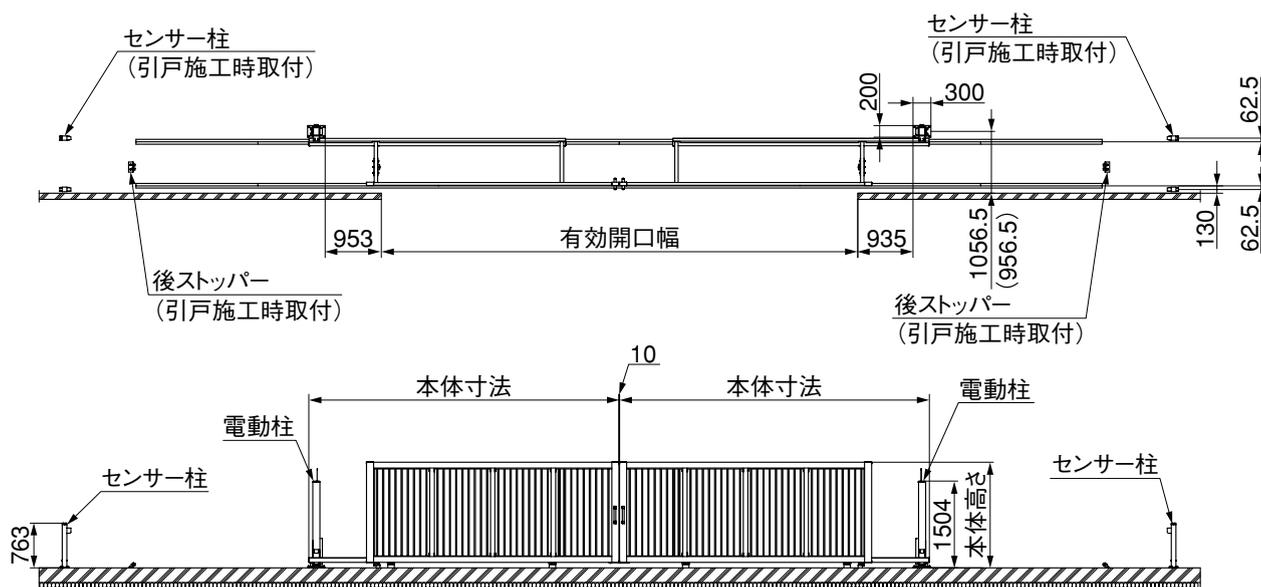


図1-13 全閉時

表1-7

呼称	有効開口幅	本体寸法
W30-30-H12 (14)	6020	4224×2
W40-40-H12 (14)	8056	5242×2
W50-50-H12 (14)	10092	6260×2
W60-60-H12 (14)	12128	7278×2

表1-8

呼称	有効開口幅	本体寸法
W30-30-H16	6016	4222×2
W40-40-H16	8070	5249×2
W50-50-H16	10124	6276×2
W60-60-H16	12178	7303×2

表1-9

呼称	本体高さ	本体幅
H12	1200	650.5
H14	1400	650.5
H16	1600	750.5

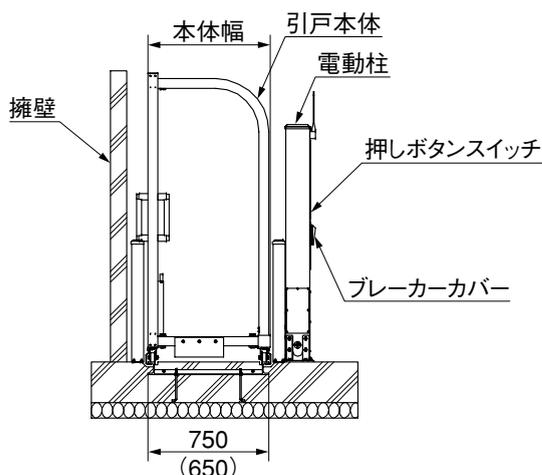
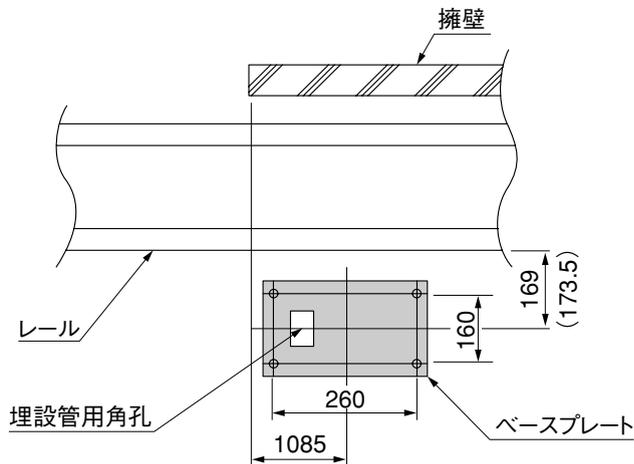


図1-14

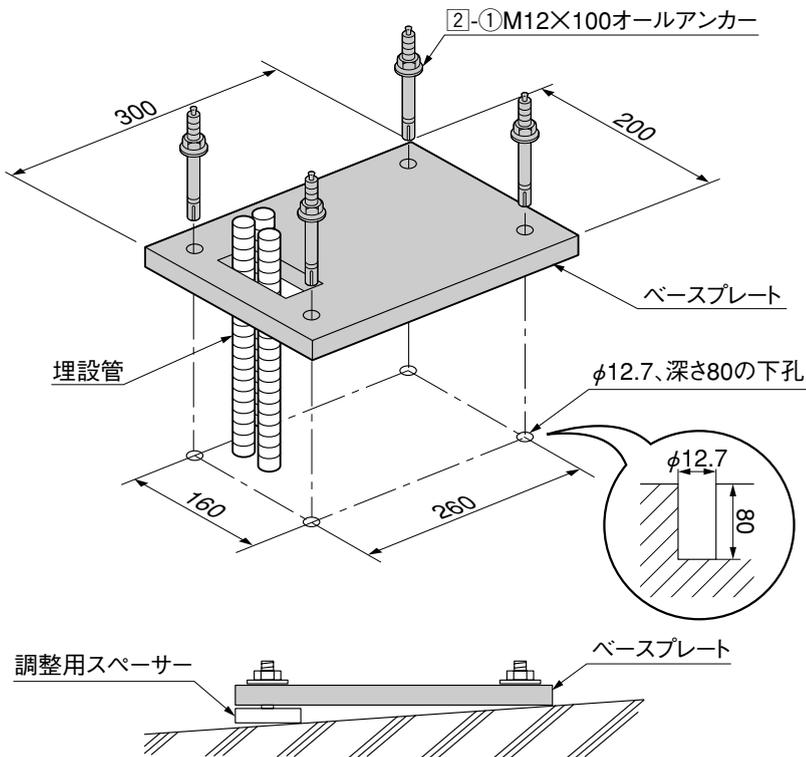
2. ベースプレートの取付



- ① 図の位置に孔をあけてください。
- ② ベースプレートの角孔に埋設管を通してからベースプレートを設置してください。
- ③ ②-①でベースプレートを取付けてください。

補足

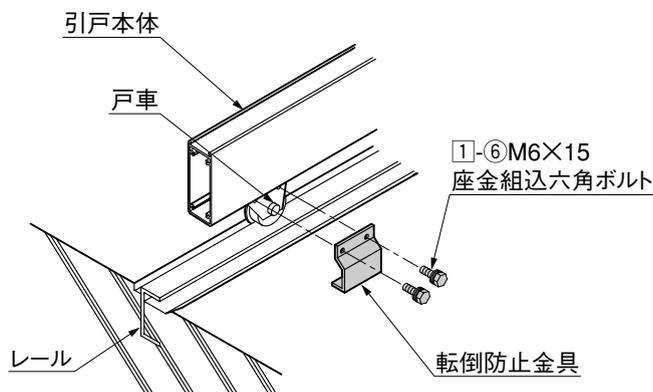
- () 内寸法はジャンボスライドST型を示します。



ポイント

- 取付けた状態でベースプレートが水平になっていない場合は、オールアンカーのナットを緩めて同梱の調整用スペーサーをベースプレートの下に挿入して、水平になるように調節してください。

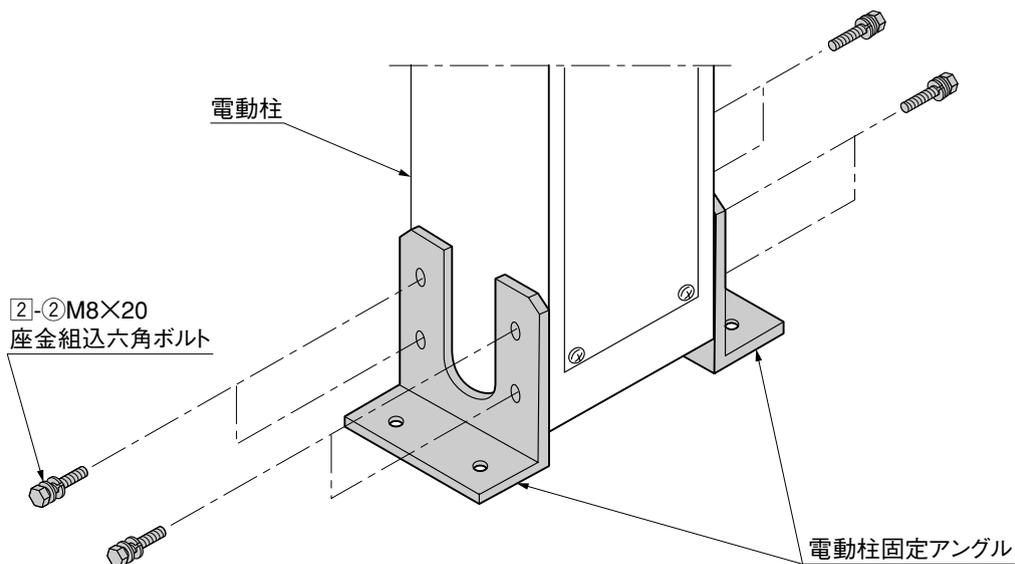
3. 転倒防止金具の取付け



- ① 引戸本体をレールに乗せた後、転倒防止金具を①-⑥で取付けてください。

4. 電動柱の取付

4-1 電動柱固定アングルの取付

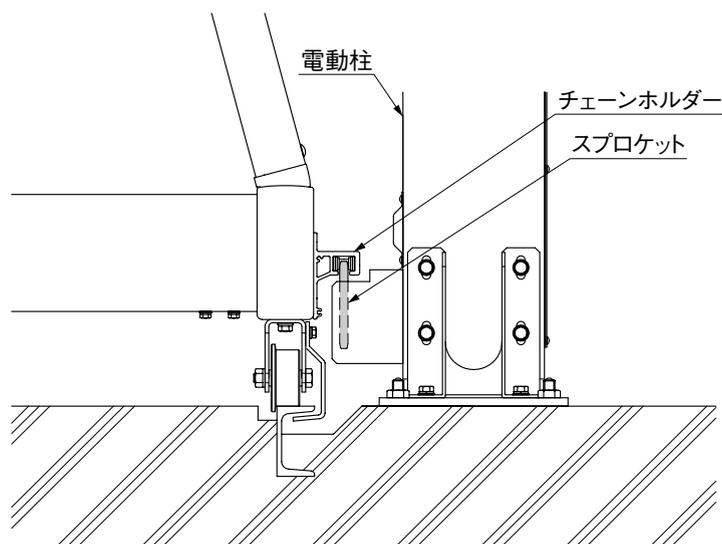


- ① 電動柱に電動柱固定アングルの②-②で仮止めしてください。

ポイント

- 電動柱固定アングルはベースプレートに取付けるまでの間は、仮止め状態にしてください。

4-2 電動柱の取付

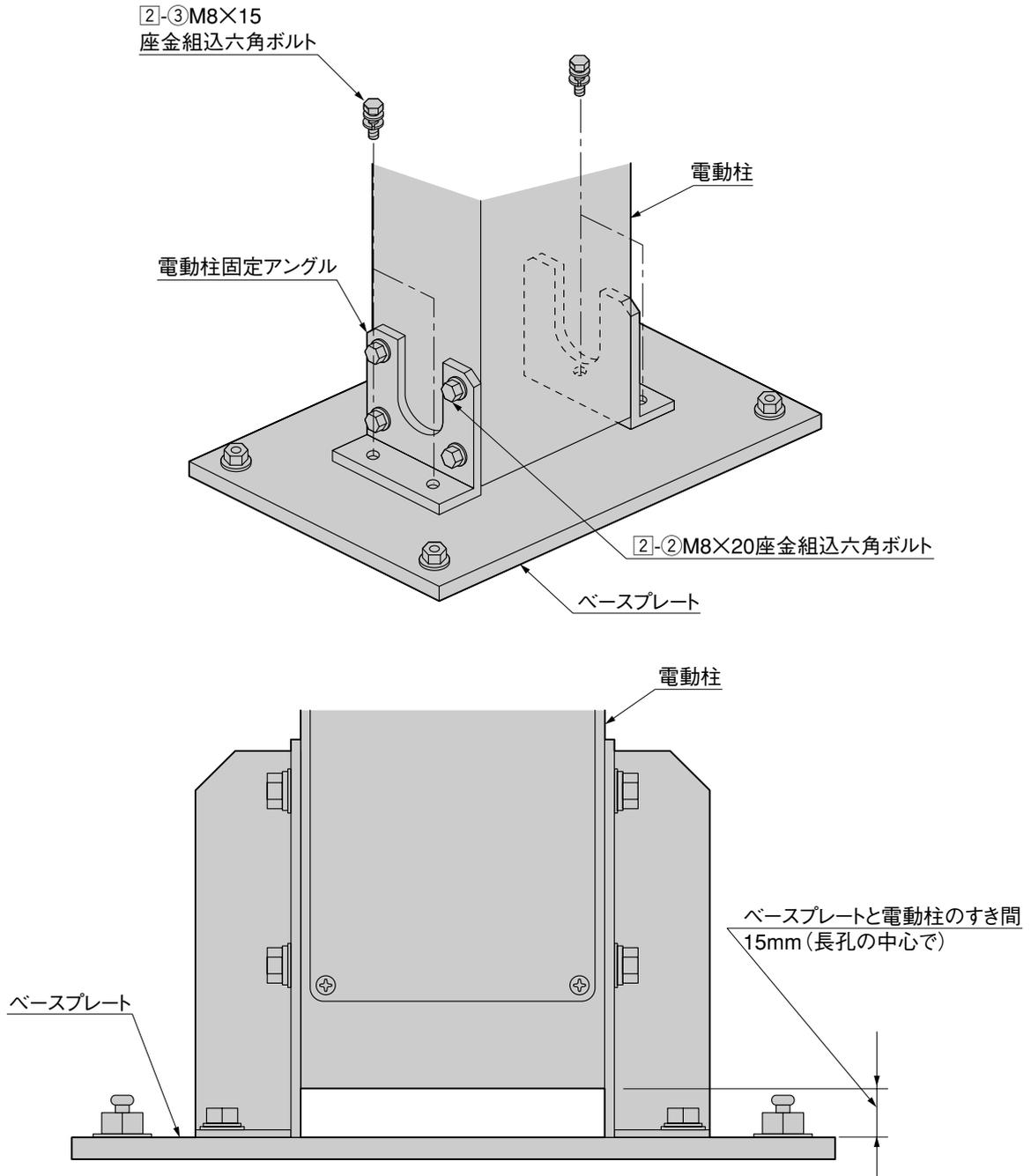


- ① 電動柱のスプロケットがチェーンホルダーにぶつからないようにチェーンホルダーの下側からスプロケットをチェーンホルダーに挿入してベースプレートに取付けてください。

ポイント

- スプロケットをチェーンホルダーにぶつけると、スプロケットが破損する恐れがあります。スプロケットが破損すると引戸の開閉ができなくなります。

4-3 電動柱の固定



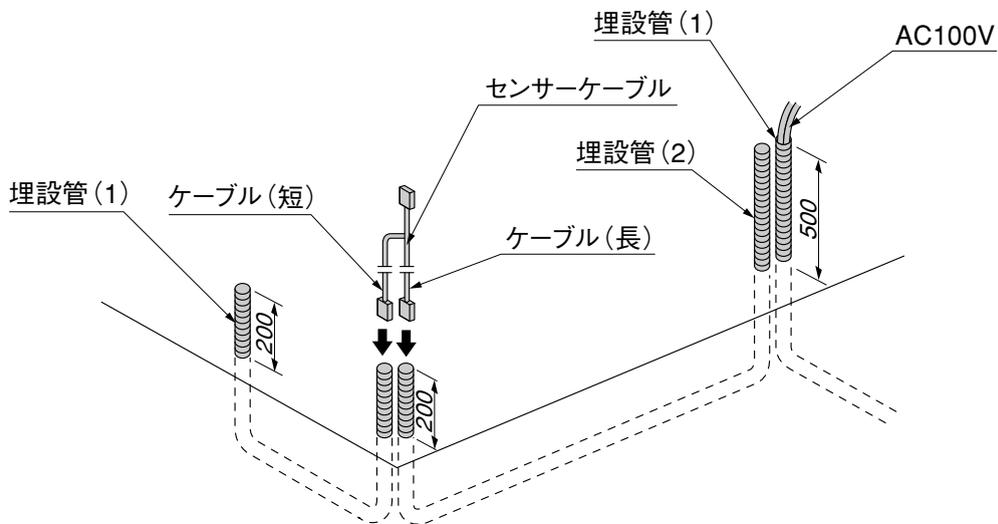
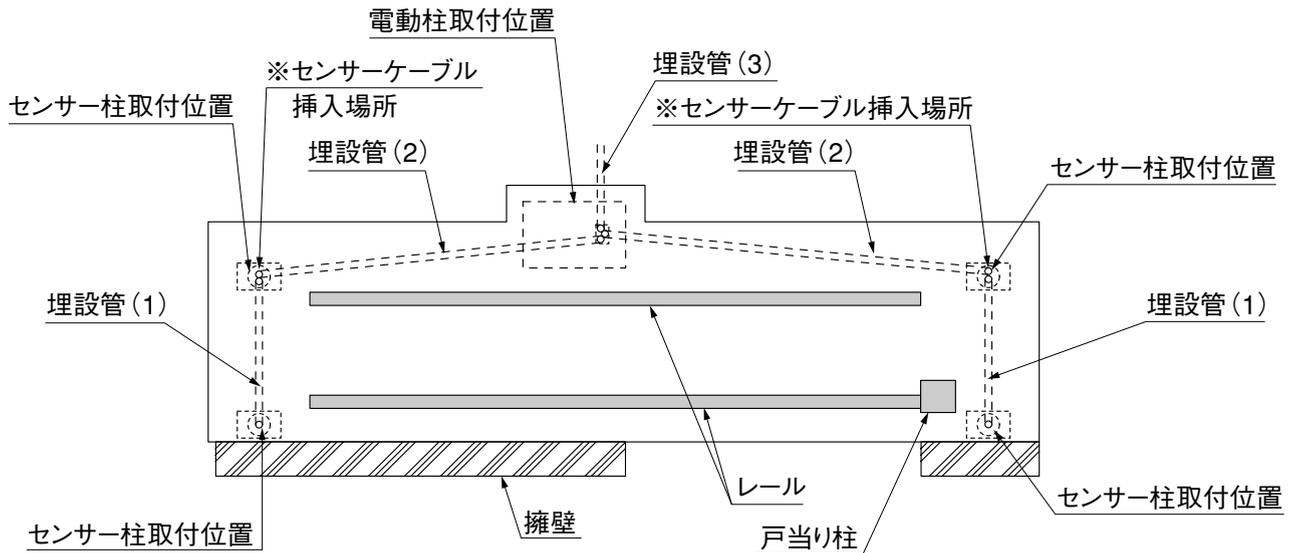
- ① 電動柱をベースプレートに②-③で固定してください。
- ② 電動柱を垂直にしてから、仮止めしてある②-②を固定してください。

ポイント

- 取付け孔は長孔になっていますが、標準位置は長孔の中心になります。
- ベースプレートと電動柱のすき間は15mmになります。

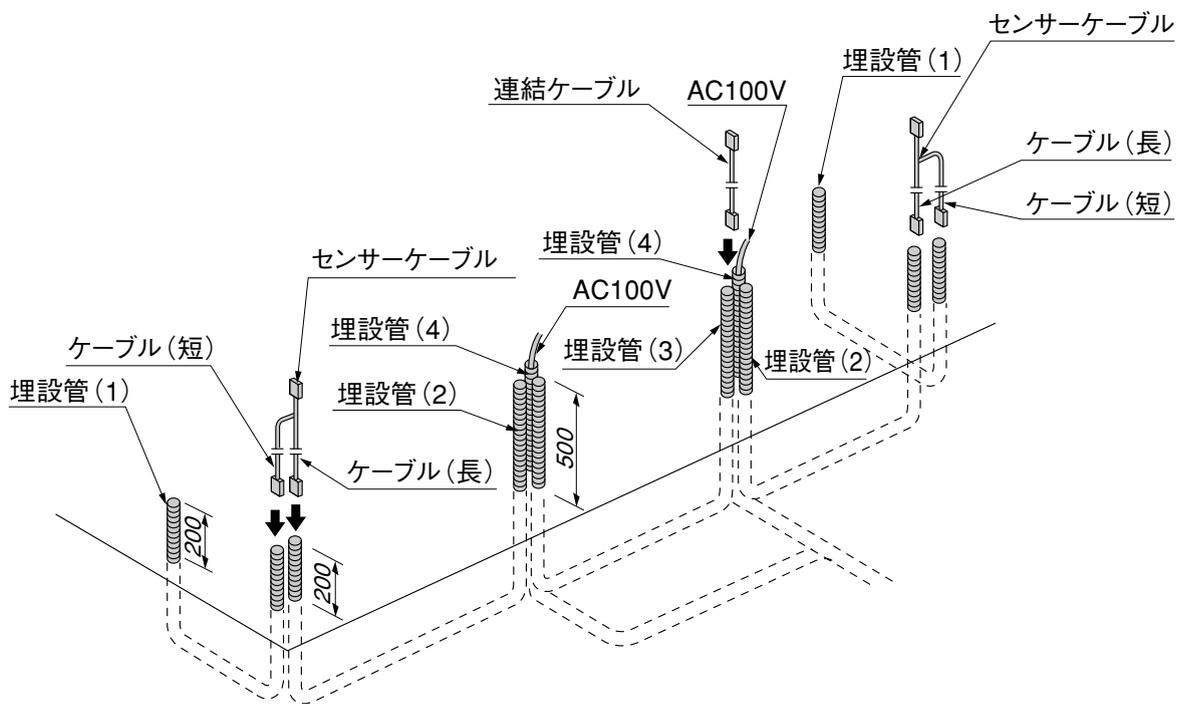
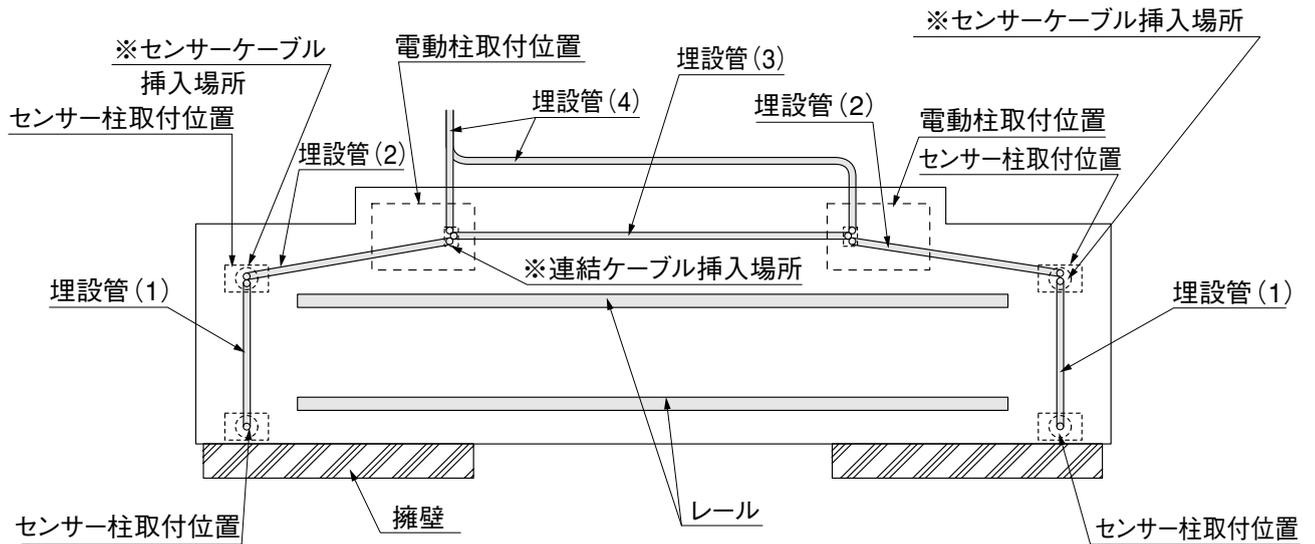
5. ケーブルの配線方法

5-1 片開き



- ① センサーケーブル挿入場所から、センサーケーブルを埋設管に通してください。その際、短い方のケーブルを埋設管(1)に、長い方のケーブルを埋設管(2)に通してください。

5-2 両開き



- ① センサーケーブル挿入場所から、センサーケーブル、連結ケーブル挿入場所から連結ケーブルを埋設管に通してください。センサーケーブルは、短い方のケーブルを埋設管 (1) に、長い方のケーブルを埋設管 (2) に通してください。

6. センサー柱の取付

6-1 センサー柱の取付 ※ () 内寸法はレール外寸650mmを示します。

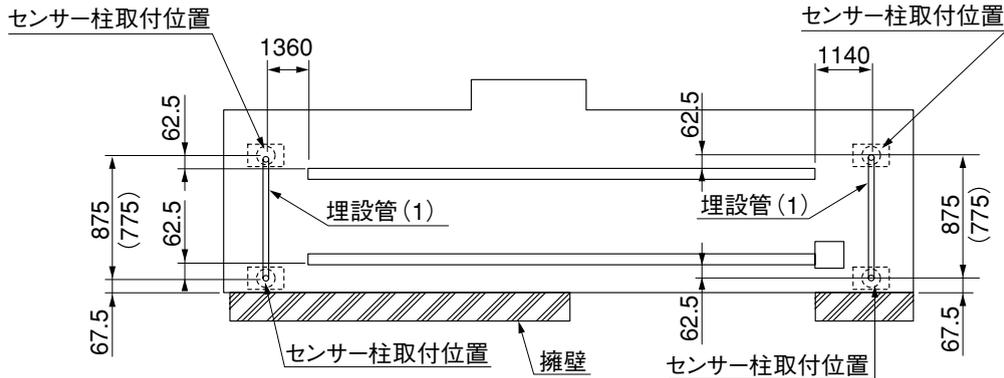


図6-1 片開き

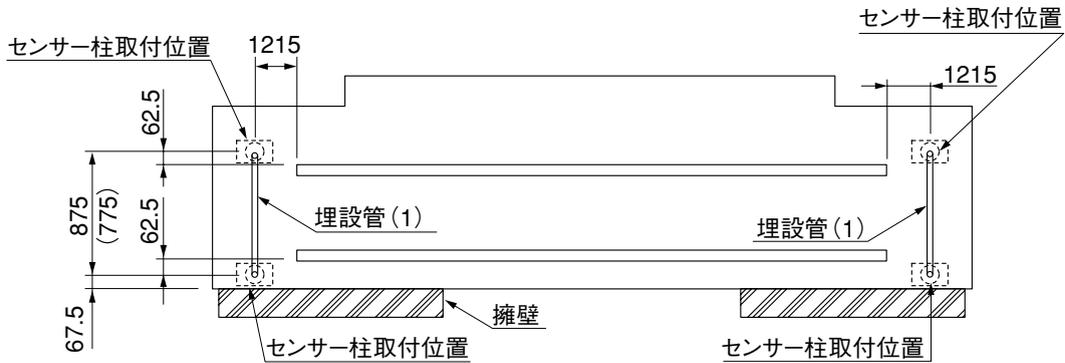


図6-2 両開き

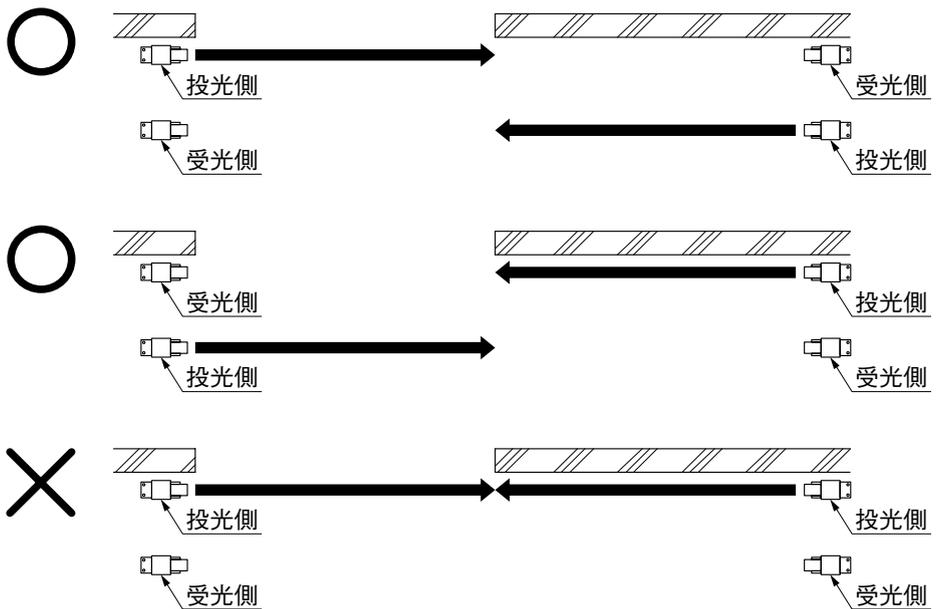
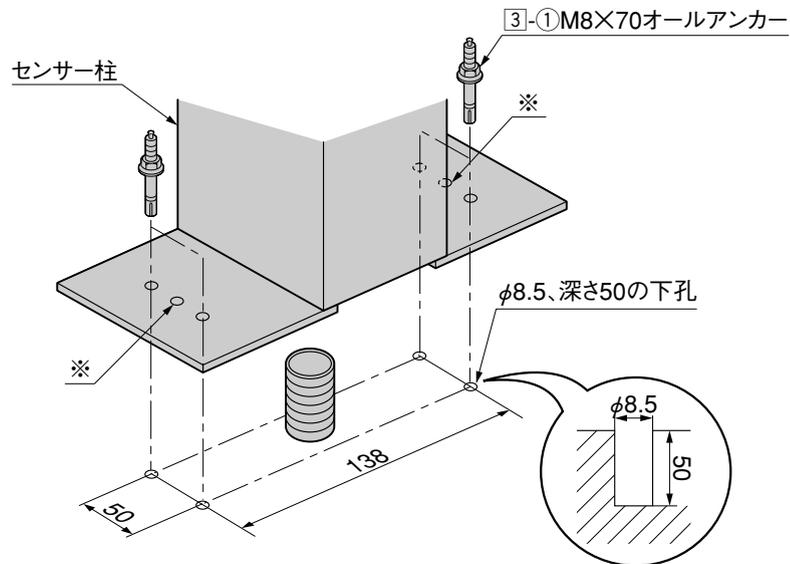


図6-3 投光側・受光側の見分け方

① 上図に従いセンサー柱を取付けてください。

ポイント

- センサー柱の投光側と受光側が、互い違いになるように取付けてください。

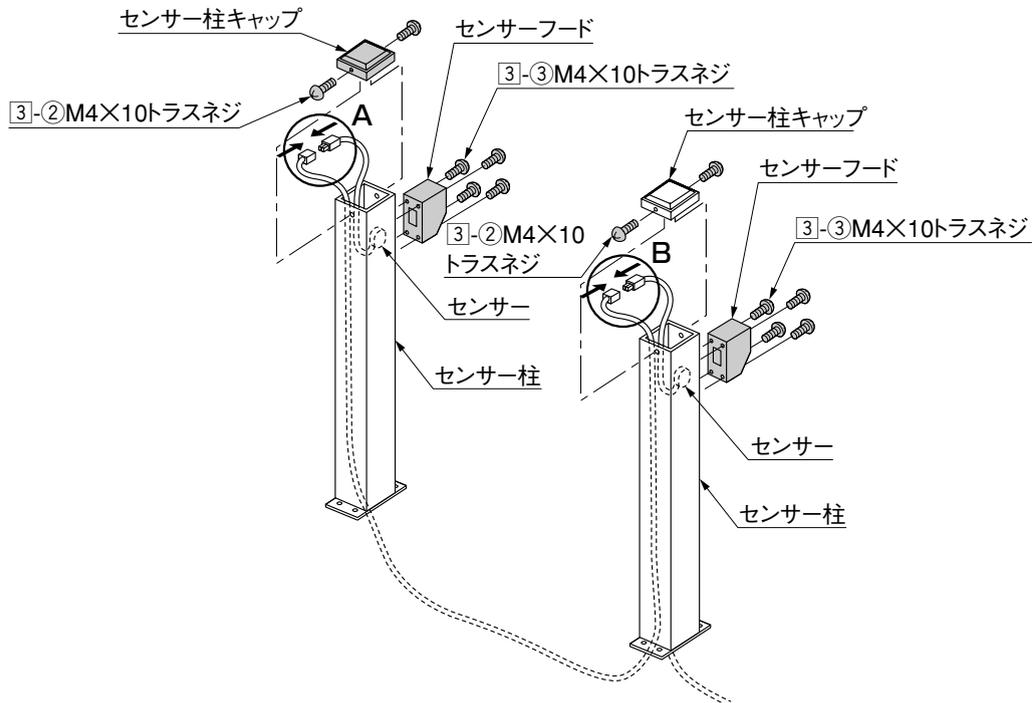


② 上図寸法にて孔をあけ、3]-①で固定してください。

補足

- ※は予備の取付孔です。壁等が接近してアンカーが打込みづらい時に使用してください。

6-2 配線および部品の取付



- ① センサーフードを3]-③で取付けてください。
- ② センサー柱キャップを3]-②で取付けてください。

ポイント

- コネクターを必ず接続してください。接続したコネクターとコードを柱内部に納めてください。この時コネクターおよびコードは、センサーの後部に納めるように注意してください。(A・B部参照)

7. 前後ストッパーの取付

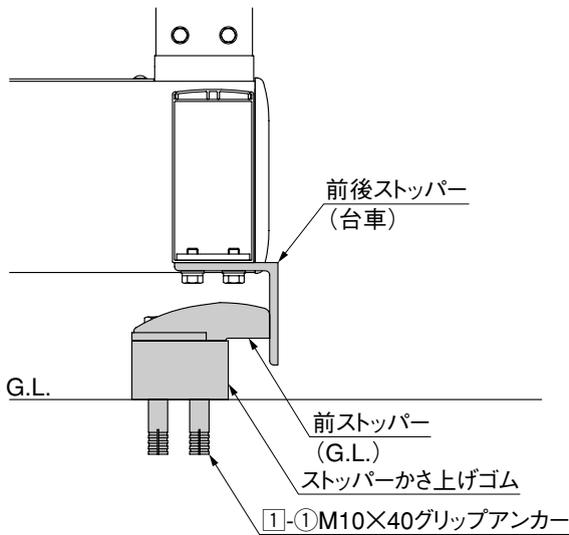
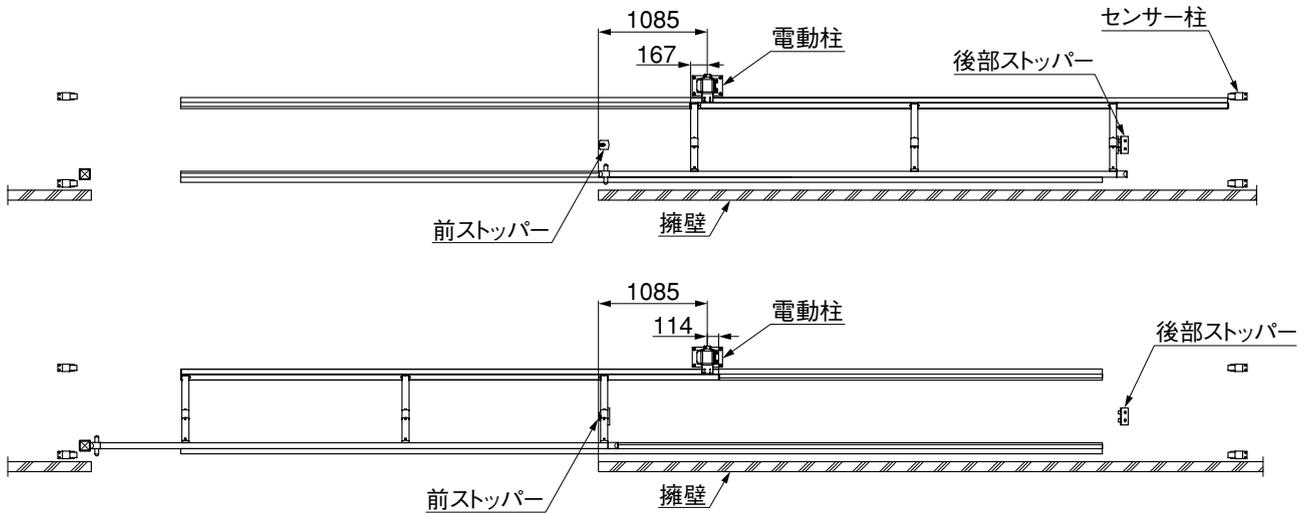


図7-1 全閉時 (AL型)

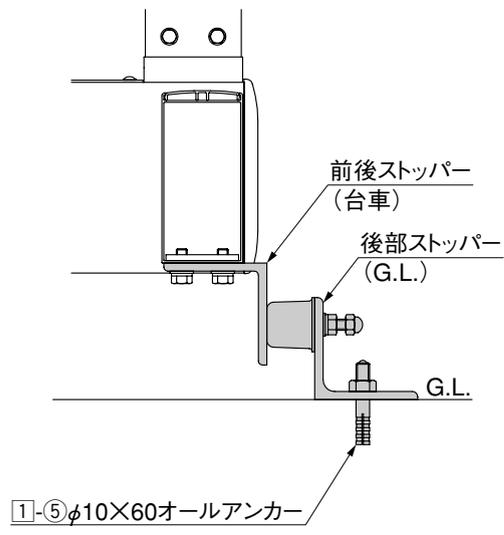


図7-2 全開時 (AL型)

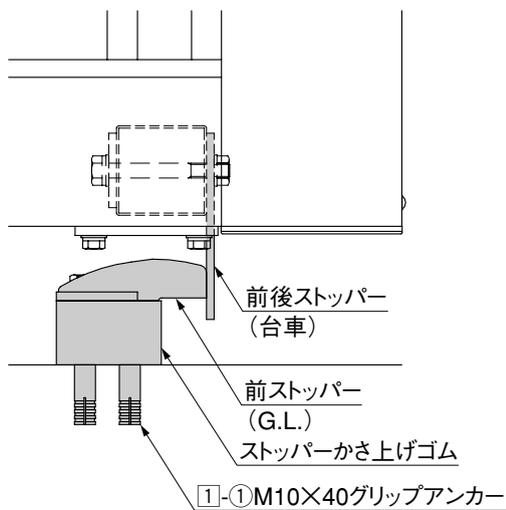


図7-3 全閉時 (ST型)

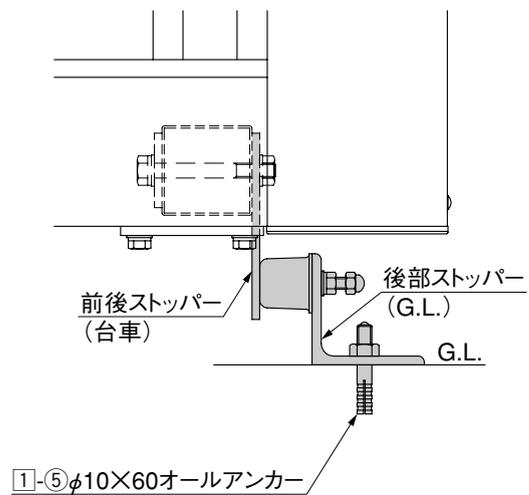
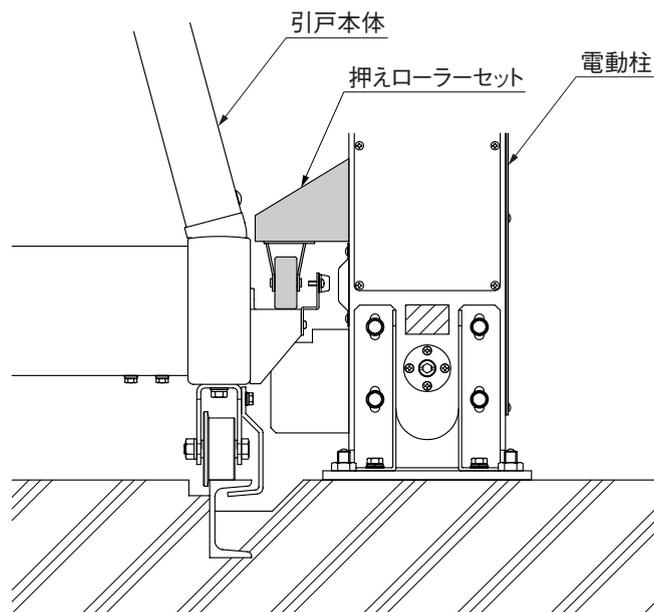
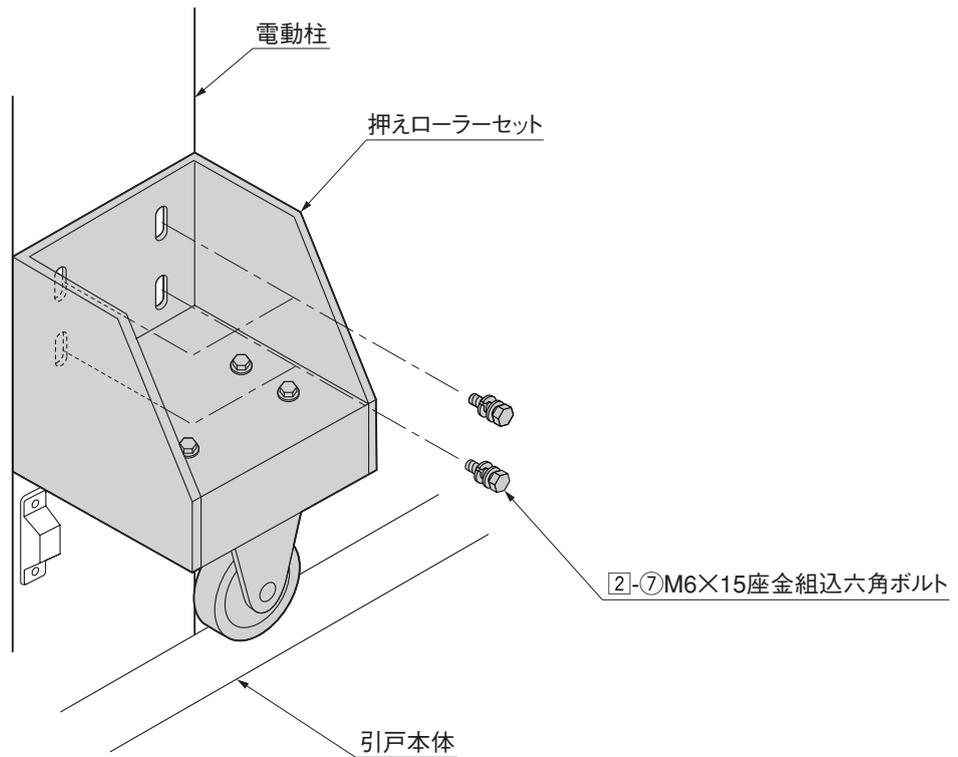


図7-4 全開時 (ST型)

① 上記位置で引戸が停止するように、前ストッパー、後部ストッパーを取付けてください。

8. 押えローラーセットの取付

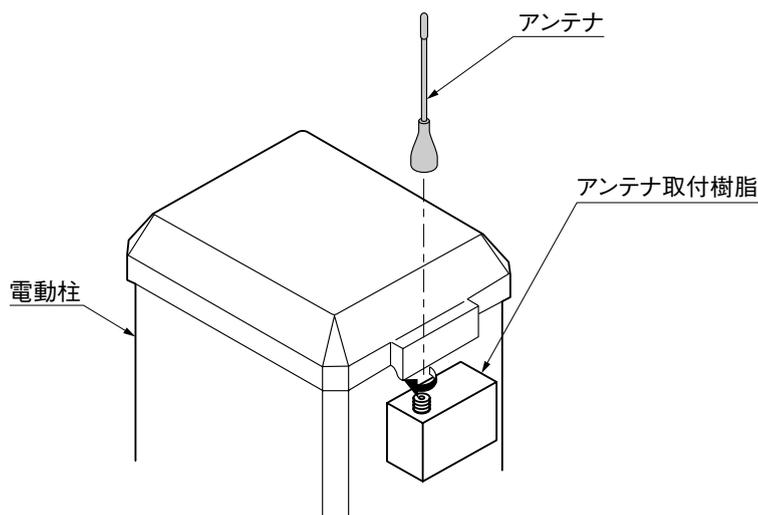


- ① 引戸本体を押さえるように押えローラーセットを②-⑦で取付けてください。

※使用環境の違いによりリモコン到達距離が短くなる場合があります。その場合はオプションのアンテナ延長ケーブルセットをご使用ください。

9. リモコン送信器アンテナの取付

9-1 本体に取付ける場合



- 1 アンテナをアンテナ取付樹脂に時計回りにまわして取付けてください。

9-2 延長ケーブルを使用する場合

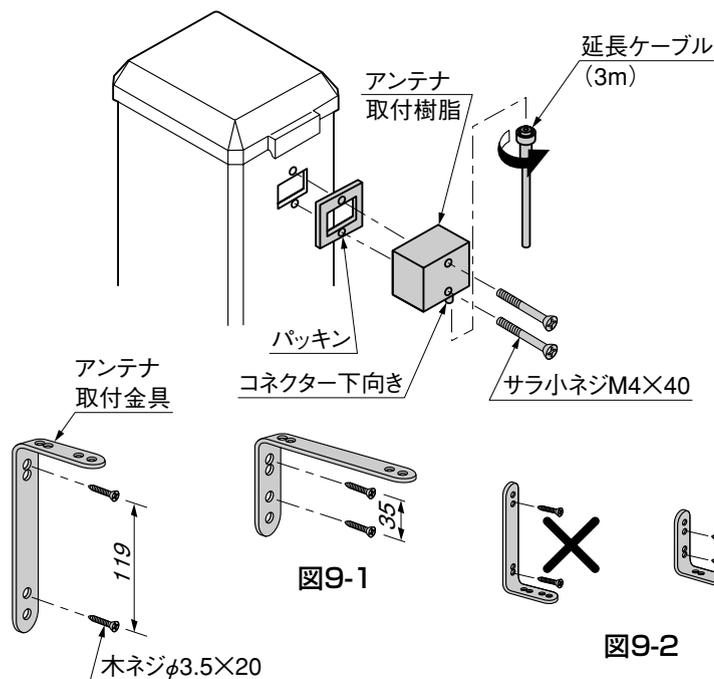


図9-1

図9-2

- 1 アンテナ取付樹脂を外しコネクターが下向きになるように、再度取付けてください。
- 2 延長ケーブルを取付けてください。

ポイント

- コネクターを下向きに付けない場合故障の原因となります。
- アンテナ取付樹脂は無理に引っ張らないでください。
- 延長ケーブルを取付ける場合には必ずアンテナ取付樹脂に取付けてください。

- 3 アンテナ取付金具を壁に固定してください。

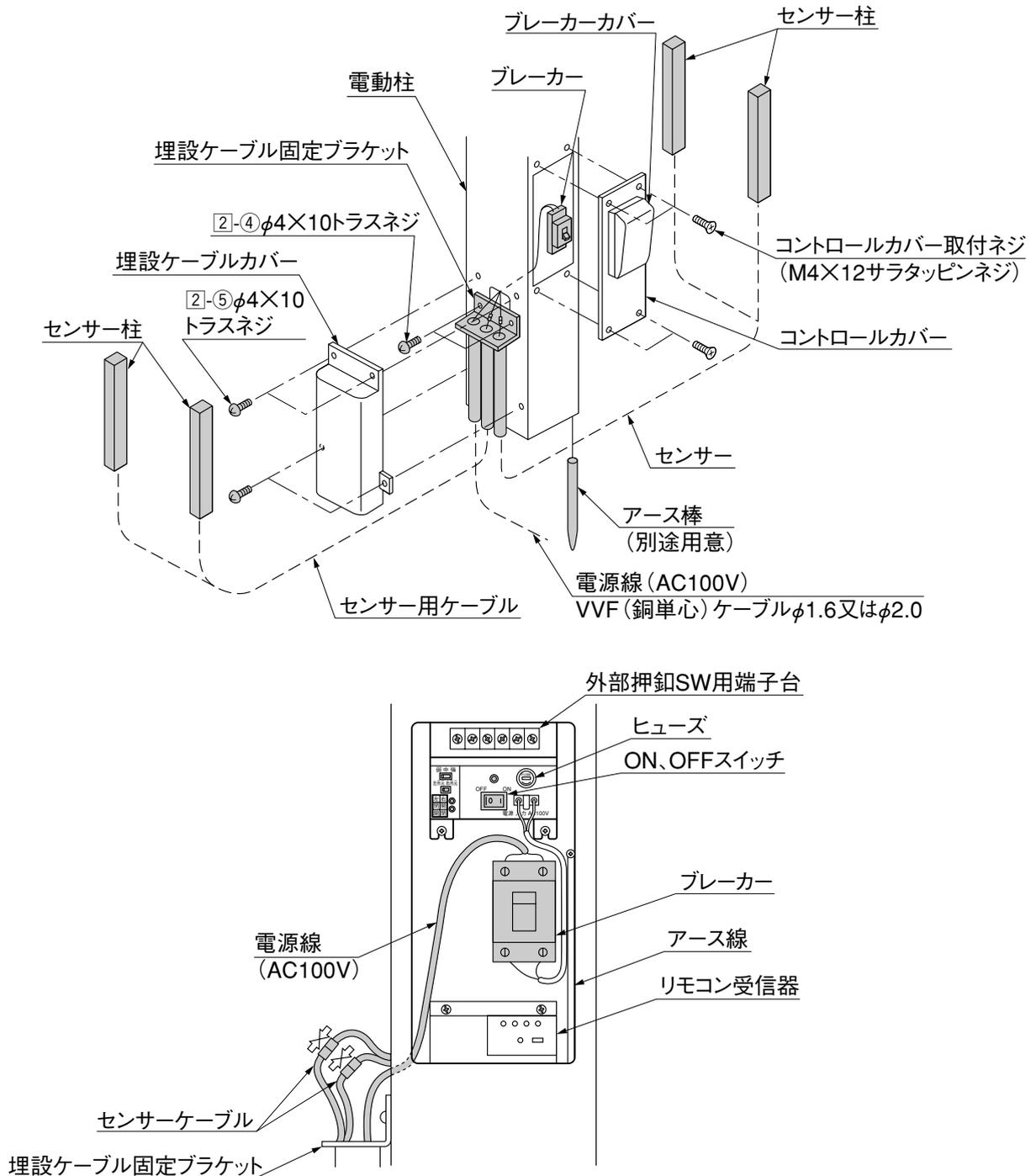
ポイント

- 取付金具をできるだけ高く金属の構造物から離れた位置に取付けてください。
- 金属に近い場合は図9-1のような取付けをしてください。(図9-1参照)
- 図9-2のように取付金具を取付けないでください。(図9-2参照)

- 4 ケーブルを取付けてください。ケーブルの長さは3mあります。
- 5 アンテナを取付けてください。

10. 電動柱の配線方法

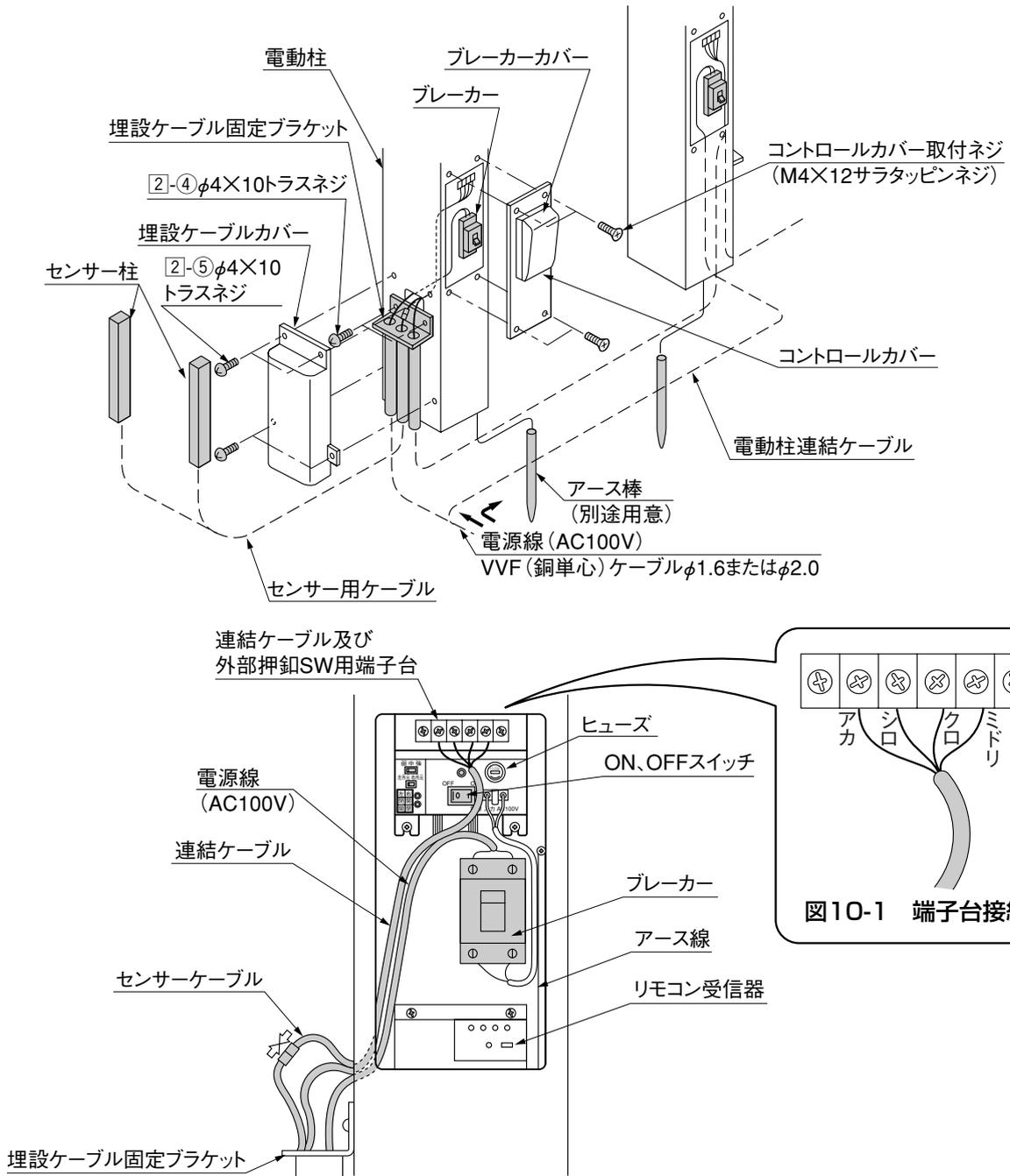
10-1 片開き



- ① 埋設ケーブル固定ブラケットを②-④で電動柱に取付け、ブラケットに埋設管を固定してください。
- ② コントロールカバー取付ネジ4個を緩めて取外し、コントロールカバーを取外してください。
- ③ 電源線（AC100V）を柱の中に通し、ブレーカーにつないでください。
- ④ 各センサー柱からきているセンサー用ケーブルのコンネクターを、電動柱から出ているコンネクターに接続し、電動柱の中に押し込んでください。（※コンネクターは各センサー共通です）
- ⑤ 第3種接地アース工事を行なってください。
- ⑥ コントロールカバーをコントロールカバー取付ネジで埋設ケーブルカバーを②-⑤で電動柱に取付けてください。

10. つづき

10-2 両開き



- ❶ 埋設ケーブル固定ブラケットを②-④で電動柱に取付け、ブラケットに埋設管を固定してください。
- ❷ コントロールカバー取付ネジ4個を緩めて取外し、コントロールカバーを取外してください。
- ❸ 電源線 (AC100V) を柱の中に通し、ブレーカーにつないでください。
- ❹ 各センサー柱からきているセンサー用ケーブルのコンネクターを、電動柱から出ているコンネクターに接続し、電動柱の中に押し込んでください。
- ❺ 電動柱連結ケーブルを柱の中を通し、外部押ボタンスイッチ用端子台につないでください。
- ❻ 第3種接地アース工事を行なってください。
- ❼ コントロールカバーをコントロールカバー取付ネジで埋設ケーブルカバーを②-⑤で電動柱に取付けてください。

10-3 外部押ボタンスイッチの配線 **オプション**

※付属の端子台は使用しませんので破棄してください。

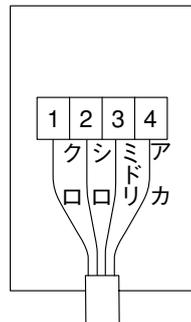
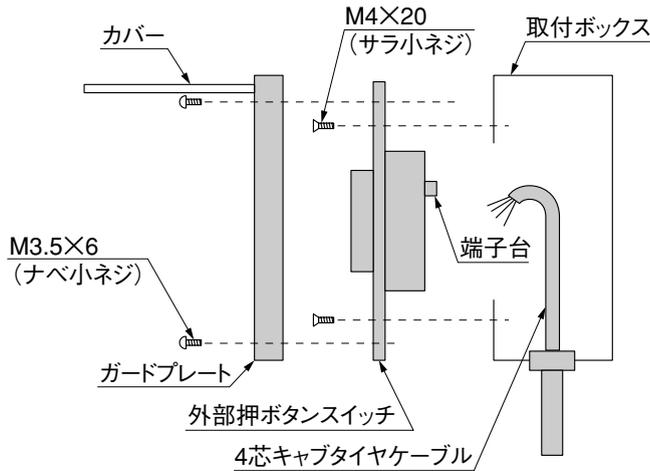


図10-2 端子台接続

- ① 取付ボックスは市販のスイッチボックス（1ヶ用）を使用してください。
- ② 外部押ボタンスイッチの端子台にキャプタイヤケーブル（4芯）を接続してください。（図10-2参照）
- ③ 外部押ボタンスイッチを取付ボックスに固定してください。
- ④ ガードプレートを外部押ボタンスイッチに取付けてください。
- ⑤ ガードブレーカー外周をシーリングしてください。

ポイント

- プラスドライバーにて隣接端子と接触しないように確実に接続してください。

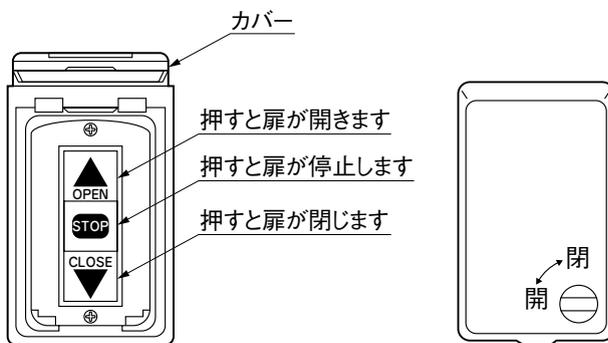


図10-3 外部押ボタンスイッチ

補足

- 外部押ボタンスイッチのカバーには保安のために簡易錠が付いています。コイン等で表示の方向へツマミを回転させますと、カバーは開錠、施錠します。（図10-3参照）

11. センサーについて

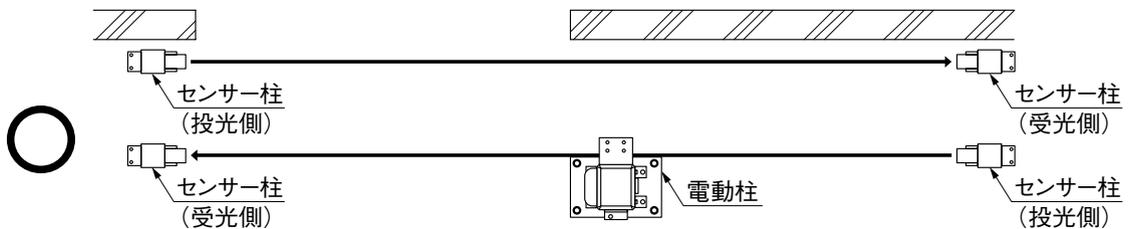


図11-1

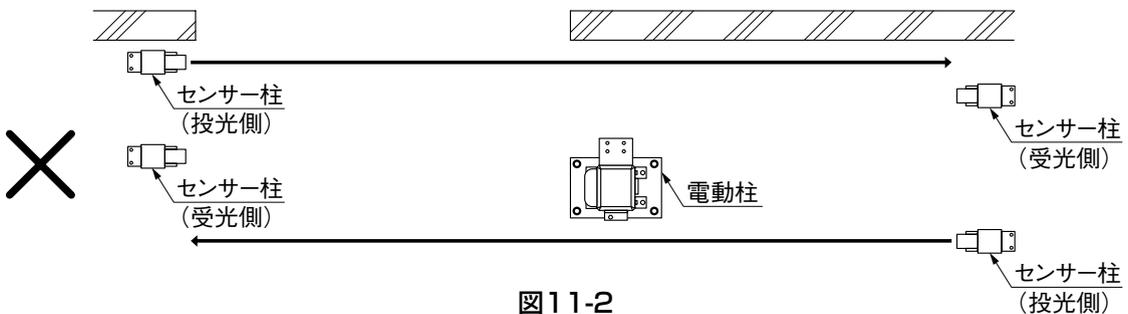


図11-2

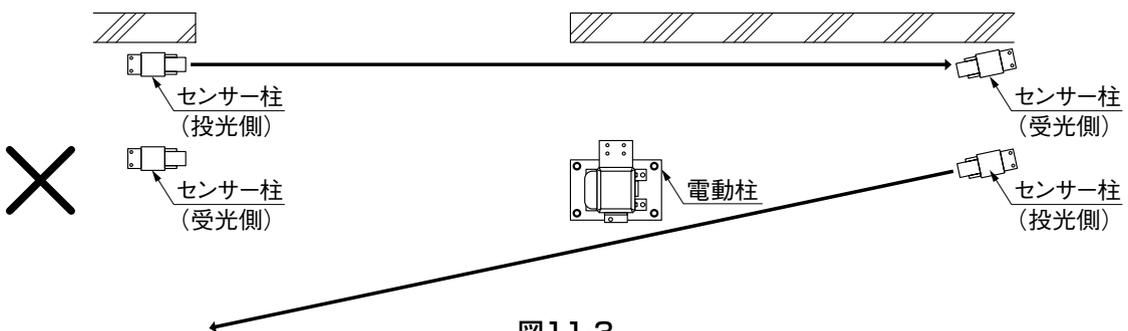


図11-3

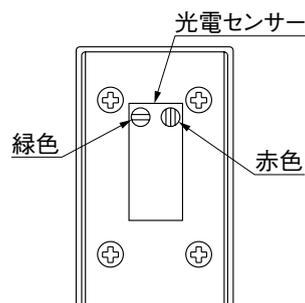


図11-4 光電センサー

① 電動柱は安全のため、光電センサーにて引戸の周りに障害物がないことを確認しながら開閉を行ないます。

ポイント

● センサーの特性上、図11-2、11-3のような組付け時には、センサーが誤作動したり、引戸が開閉しなくなりますのでセンサーは必ず光軸を合わせて取付けてください。（図11-2、11-3参照）

② センサー柱（投光側）とセンサー柱（受光側）の光軸を合わせるように組付けてください。

ポイント

● 緑色のみ点灯している時・・・光軸が一致している状態
 緑色と赤色が点灯している時・・・光軸が一致していない状態

12. マグネットスイッチの取付

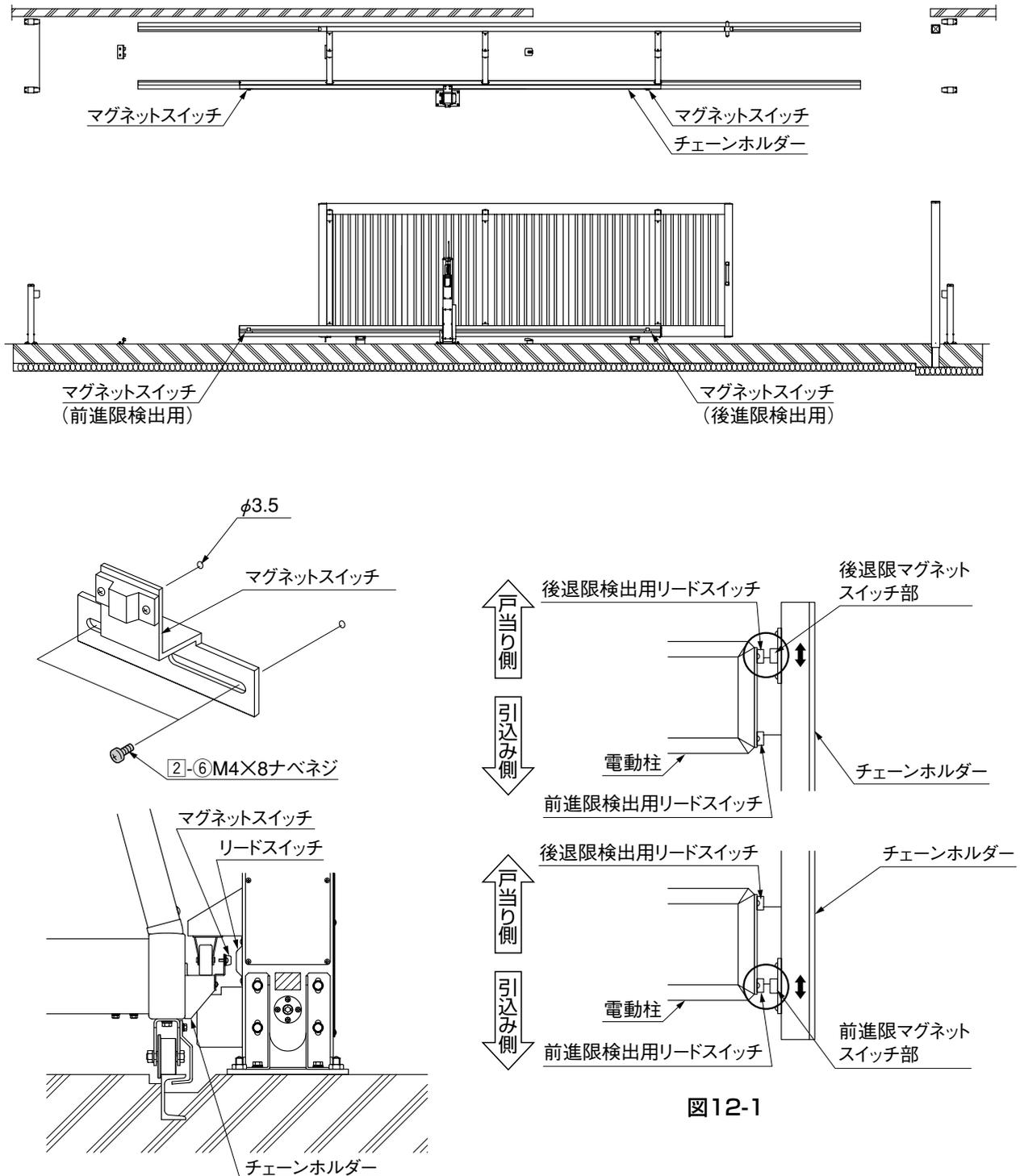
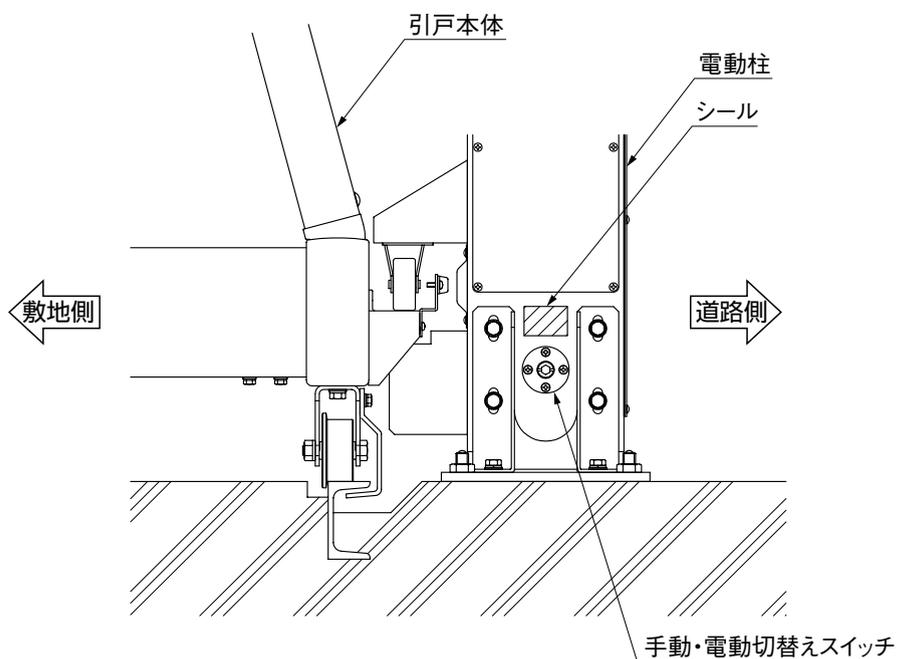


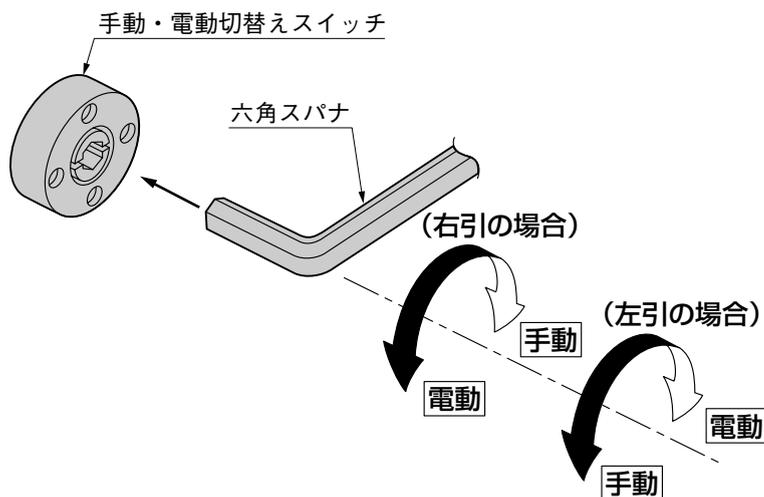
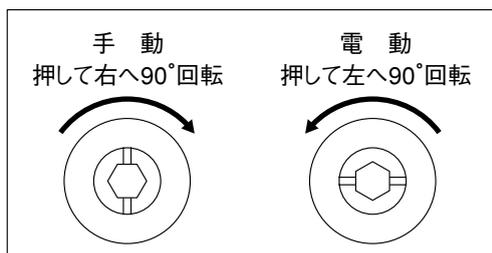
図12-1

- ❶ マグネットスイッチ裏面には仮止めの両面テープが貼ってありますので、目測で図12-1の位置になるよう取付けてください。
- ❷ リードスイッチとマグネットスイッチの中心が合うように、実際に動かしてみて位置を決めてください。
- ❸ ドリルで下孔（ $\phi 3.5$ ）をあけ、**2-6**で固定してください。

13. 手動と電動の切替え方法について



※このシールは右引のものです。



❶ 電動柱は安全のため、工場出荷時は手動に切替えてあります。電動で動かす場合には柱に貼付けられたシールに従って付属の六角棒スパナで切替えてください。

補足

- 施工店様へ
六角棒スパナは、施工後必ず施主様にお渡しください。

14. 使用方法

14-1 リモコン送信器での操作方法 ※リモコン送信器の押ボタンを押して扉を開閉してください。

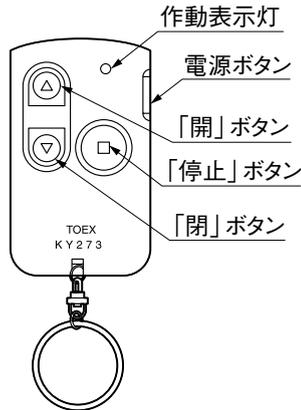


図14-1 MD-3リモコン送信器

① 電源ボタンを押してください。作動表示灯が点滅します。

ポイント

- 作動表示灯の点滅時間は約15秒間です。15秒を経過すると点滅は自動的に消え、リモコン操作ができなくなります。再びリモコン操作するときには、電源ボタンをもう一度押してください。
- ② 作動表示灯点滅中に「開」ボタンを押すと、作動表示灯が点灯し扉が開きます。
 - ・途中で停止させるときは「停止」ボタンを押してください。
 - ③ 作動表示灯点滅中に「閉」ボタンを押すと、作動表示灯が点灯し扉が閉じます。
 - ・途中で停止させるときは「停止」ボタンを押してください。

ポイント

- リモコン送信器の実用到達距離約10m以内で操作してください。
- 開／閉作動中に、逆方向からの閉または開作動をさせるときは、必ず一度「停止」ボタンを押して引戸を停止してから、次の押ボタンを押してください
- 「停止」ボタンだけは、電源ボタンを押さなくても送信が可能となっています。

14-2 電動柱押ボタンスイッチでの操作方法 ※電動柱に付いている押ボタンを押して扉を開閉してください。

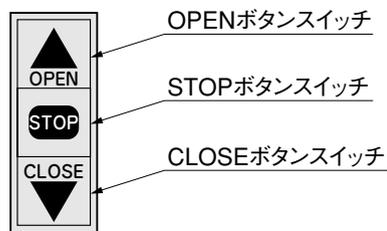


図14-2 柱押ボタンスイッチ

- ① OPENボタンスイッチを押すと扉が開きます。
- ② STOPボタンスイッチを押すと扉が停止します。
- ③ CLOSEボタンスイッチを押すと扉が閉じます。

14-3 外部押ボタンスイッチでの操作方法 **オプション**

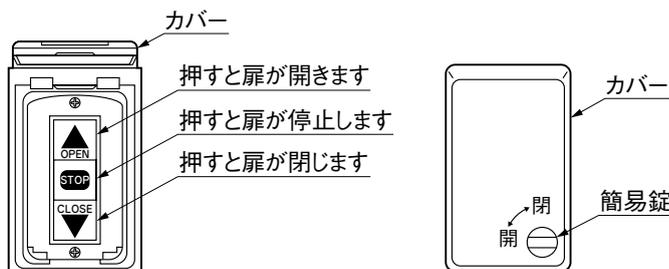


図14-3 外部押ボタンスイッチ

※道路側に付ける外部押ボタンを押して扉を開閉してください。

- ① 簡易錠をコイン等で開位置（溝が水平）まで回してカバーを開けます。
- ② OPENボタンスイッチを押すと扉が開きます。
- ③ STOPボタンスイッチを押すと扉が停止します。
- ④ CLOSEボタンスイッチを押すと扉が閉じます。
- ⑤ カバーを閉め、簡易錠をコイン等で閉位置（溝まで回し施錠します。が垂直）

15. リモコンについて

※リモコン送信器の実用到達距離は約10mなので
その範囲内で操作してください。

15-1 電池の入れ方

※送信器のコイン型リチウム電池（CR2032）を1個使用します。
出荷時、電池は部品として本体と同梱されています。

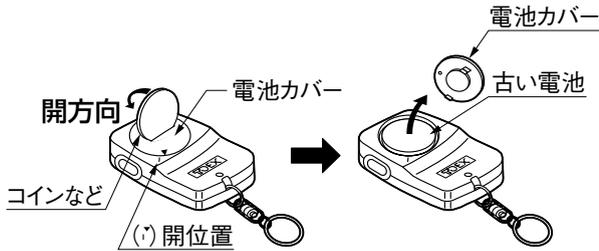


図15-1

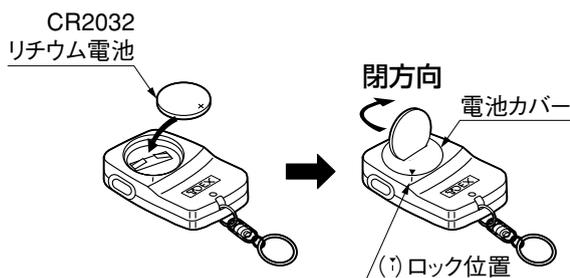


図15-2

- ① リモコン送信器裏側、電池カバーの溝にコイン等を差込み、反時計回りにまわして電池カバーを外してください。（図15-1参照）
- ② 電池は「+マーク」が見える向き（上側）ではめ込んでください。（図15-2参照）
- ③ 電池カバーを、外した位置で差込み、コイン等で時計回りに回し閉めてください。（図15-2参照）

ポイント

- 「マーク」を合わせます。「締め忘れ」に注意してください。（図15-2「ロック位置マーク」参照）

15-2 登録方法

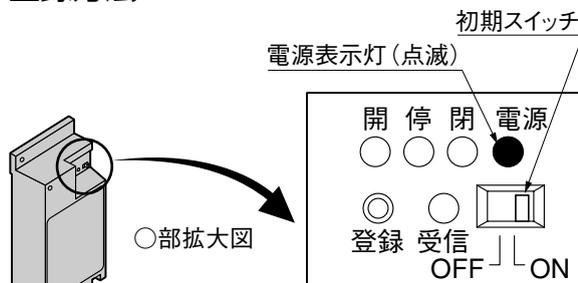


図15-3

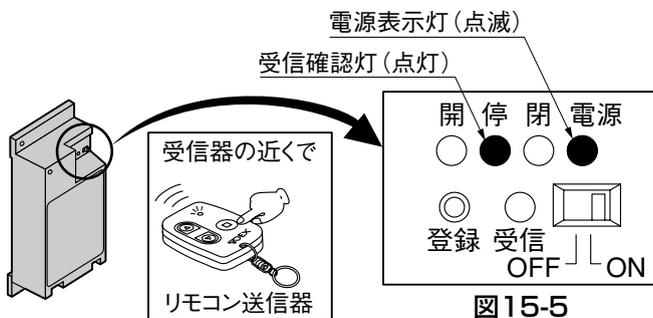


図15-4

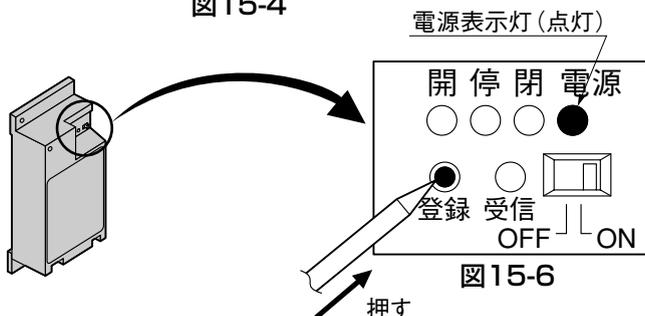


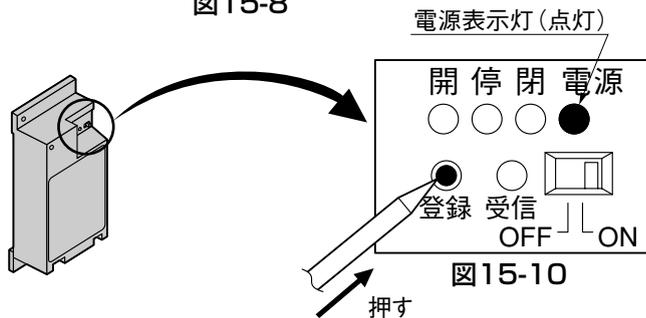
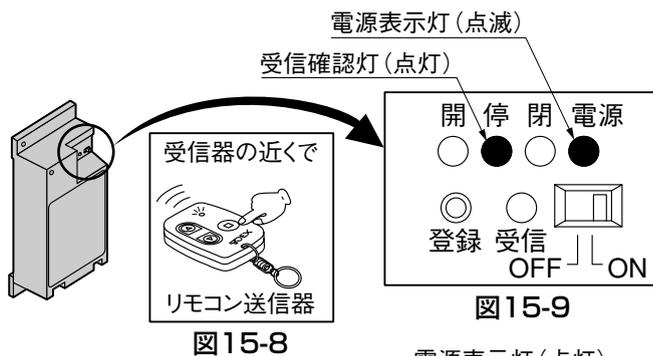
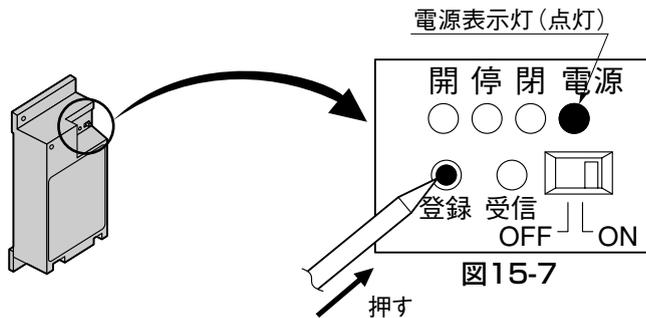
図15-5

- ① 電動柱のコントロールカバーを取外してください。
- ② リモコン受信器の初期スイッチを「ON」側にすると、電源表示灯（緑色）が点滅します。点滅しない場合は、初期スイッチを一度「OFF」にして、もう一度「ON」側にしてください。（図15-3参照）
- ③ リモコン送信器の「停止」ボタンを、リモコン受信器近くで押してください。受信確認灯「停」が赤色点灯すると、送信器登録が完了します。（図15-4、15-5参照）
- ④ リモコン送信器の登録操作後、リモコン受信器の「登録スイッチ」をボールペンの先などで押してください。受信器登録が完了します。または、電源表示灯の点滅が点灯に変わるまで待ちます。点灯表示で受信器登録が完了します。
- ⑤ 外したコントロールカバーを取付けてください。

ポイント

- 受信器への登録は、必ず電源表示が「点滅している1分間」に操作してください。

15-3 追加登録方法



- ① リモコン受信器の登録スイッチをボールペンの先などで押してください。電源表示灯が点滅します。(図15-7参照)
- ② リモコン送信器の「停止」ボタンを、リモコン受信器近くで押してください。受信確認灯「停」が赤色点灯すると、送信器登録が完了します。(図15-8、15-9参照)
- ③ リモコン送信器の登録操作後、リモコン受信器の「登録スイッチ」をボールペンの先などで押してください。受信器登録が完了します。または、電源表示灯の点滅が点灯に変わるまで待ちます。点灯表示で受信器登録が完了します。

ポイント

- 初期スイッチを「OFF」にした場合、登録しているリモコン送信器はすべて操作できなくなります。

補足

- リモコン受信器1台でリモコン送信器16台まで登録できます。
- 複数のリモコン送信器をご使用になる場合は、別売り品のリモコン送信セット (KYZ73) をお求めいただき上記手順でセットしてください。

15-4 登録取消し方法

- ① すべての登録を取消す場合は、リモコン受信器の初期スイッチを「OFF」側にしてください。

16. 施工後の点検

16-1 引戸本体の確認

- ① すべての部品の取付け調整が完了しましたら、電動柱下部のクラッチ解除レバーを再度手動にして、引戸本体がスムーズに作動するか確認してください。
- ② 次にクラッチ解除レバーを電動にして引戸を作動させてください。前ストッパー、後部ストッパーに引戸が当たる直前に駆動モーターが切れるタイミングになるよう、マグネットスイッチを調整し直してください。
- ③ 調整が終わりましたら再度電動で引戸を作動させ開状態、閉状態でクラッチ解除レバーを手動に切替えてください。スムーズにできれば調整終了です。

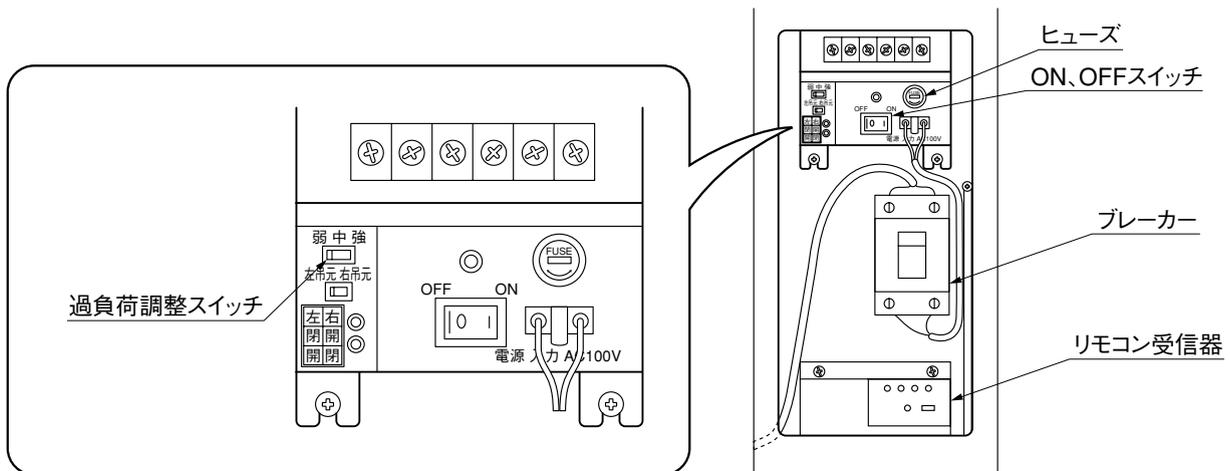
16-2 安全装置の確認

(1) 光電センサー

- ① センサー柱内に透過型光電センサーが組込まれていて（G.L.から635mm）、障害物を検出した場合引戸は停止します。センサーの確認方法として、手などでセンサーを遮光し引戸が確実に停止するかテストを行なってください。停止後、引き続き開閉操作を行なうと引戸は作動します。

(2) 回転センサー

- ① 回転センサーによる過負荷検出が可能な装置が組込まれています。引戸が閉じる方向に動いている途中で、障害物等にぶつかり停止した場合、約2秒後にスイッチが切れ約15cm後退して停止します。開く方向に動いている途中で停止した場合、約2秒後にスイッチが切れその位置で停止します。停止後、引き続き開閉操作を行なうと引戸は作動します。
- ② 過負荷検出は調整が可能です。引戸本体が作動途中で停止し、安全装置が作動してしまう場合には、過負荷調整スイッチを「中」または「強」にしてください。



取説コード
D360

JZZ607287
200504A_1006